誰でもいつでも スポーツを楽しめる東京に

日本共産党東京都議団の提案

スポーツをしたいのに、「仕事・子育てで時間がない」
「近くにスポーツ施設がない」などの声にこたえて

都立スポーツ施設を充実し、利用料は引き下げます

東京体育館のアマチュア利用の休日料金が2023年に2.25倍に値上げされ、大会参加費を上げざるを得ないとの声が届いています。都立スポーツ施設の料金を引き下げ、都民が使いやすくします。

都民が広域的に利用できるスポーツ施設を増やし、全国最低水準の人口当たりの公共スポーツ施設数を改善します。

障害のある・なしにかかわらず利用できる公共スポーツ施設を増やします。

身近な地域でスポーツが出来る環境を広げます

区市町村のスポーツ施設整備を支援します。

子どもがボール遊びなどを自由にできる公園や、お金がかからずに気軽にスポーツをできる場所を、身近な地域に増やします。

障害者スポーツの振興を促進します

どんな障害のある人でもスポーツを楽しめる普及、啓発、場の確保、人材の育成などの支援を強化します。特別支援学校のプールを温水化し、障害者スポーツの場として活用できるようにします。

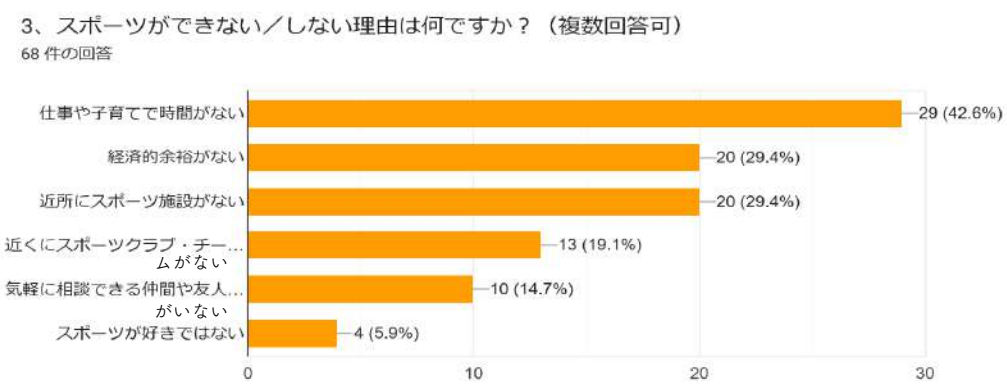
デフリンピックの開催を支援し、理解促進・啓発を行います。

スポーツ振興条例を制定します

スポーツは国民・都民の権利です。スポーツ振興条例を制定し、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しめる環境・条件を整備します。

日本共産党の要求アンケート※では、7割が「スポーツをやりたい」と答えている一方、スポーツができない(しない)理由は、「仕事や子育てで時間がない」(42.6%)、「経済的余裕がない」(29.4%)、近所にスポーツ施設がない」(29.4%)と答えています。日本共産党は、スポーツは国民(都民)の権利の立場にたち、「誰でもいつでもスポーツを楽しめる東京」を実現します。

※日本共産党スポーツ後援会による「あなたの声を届けます　Sports Version」アンケートの中間報告。質問項目は今あなたはスポーツをしたいと思いますか？スポーツをやりたい理由はなんですか？どんなスポーツをしていますか？ほか



消費税廃止をめざし緊急に5%に引き下げます。インボイスは廃止にします

東京民報

日本共産党東京都委員会（http://jcp-tokyo.net/）の見解を紹介します。
発行：東京民報社　東京都港区芝1-4-9平和会館５階
（1965年11月12日 第三種郵便物認可）2025年6月号外

都民のみなさんとともに

スポーツ分野の要求実現めざし奮闘する

日本共産党東京都議団

日本共産党都議団は、新日本スポーツ連盟などのスポーツ諸団体、スポーツ愛好者のみなさん、スポーツ施設で働く方々などのお話を伺い、スポーツ分野の要求実現めざし、繰り返し都議会で質問してきました。

スポーツのすそ野を広げ、誰もが料金や予約に苦労せずスポーツを楽しめ、子どもたちがスポーツを好きになる東京をつくるように求めてきました。

学校プールの充実、スケボー練習場の整備…子どもや若者にスポーツの場を

小中学校のプールを廃止して、授業は民間スポーツクラブなどで行う動きがあります。プールの授業が減り、民間クラブも一般利用が制限されるなどのことが生じています。日本共産党東京都議団は2023年、学校プールの廃止状況を調査し、廃止するのでなく、教員の負担を軽減しながら、水泳授業の場、地域スポーツの場として充実させることを求めました。子どもがボール遊びやスポーツができる身近な公園や施設、スケートボードの練習場の整備なども求めています。

「都立は高い」繰り返し値下げを求める

区市立施設などに比べて、「都立は高い」との声があちらこちらから上がっています。料金引き上げには反対し、値下げを求めています。駐車料金も、せめて資材などを運ぶ主催者車両は無料にすべきです。利権がつきまとうスポーツビジネスに、都が肩入れし多額の税金を投入することには、慎重であるべきです。

障がい者スポーツセンターを利用しやすく

コロナ以降、都の障害者スポーツセンターの利用制限が厳しすぎ、利用できないとの声が上がっていました。コロナで活動を休止したままのサークルもあります。運営の改善やPRの工夫、また障害者スポーツを支えるスタッフの待遇改善を求め、改善につながりました。

日本共産党の躍進でもっとスポーツを楽しめる東京に